

市議会ホームページ



みずなみ議会ちゃんねる。

あなたと議会をつなぐお届け便



議会の新構成	2
決議書	3
委員会の審査報告（予算決算委員会）	4～5
委員会の審査報告	6
委員会の審査報告・意見書	7
市政一般質問	8～14
議決結果一覧	14～15
意見募集・編集後記	16

発行／瑞浪市議会 編集／議会広報広聴委員会
 TEL／0572-67-1112 FAX／0572-68-2043
 E-mail／gikai@city.mizunami.lg.jp



◀ 陶小学校の入学式
 ▼ 陶幼稚園の卒園式

早起き、勉強など心配ですが、今のお友だちと一緒に助け合ってやっていけると思います。

卒園おめでとう！小学校へ行っても 11人で仲良く・楽しく・明るい毎日をご過ごせることを願っています。

お話を伺ったお母さんより



コロナ禍でも元気に育つ、瑞浪の未来をつくる子どもたち

新型コロナウイルス感染症で、これまでとは異なる日常生活を余儀なくされている子どもたちですが、地域の方や親御さんに見守られながら卒園・卒業、入学の節目を迎えられました。

瑞浪市で育った子どもたちが、「地元がいい！」「帰ってきたい！」と思えるまちをつくりたい。そんな想いを胸に令和3年度も市議会は精進して参ります。



信頼される議会

議長 加藤輔之

この度、3月定例会で瑞浪市議会56代議長に就任いたしました。新型コロナウイルス感染症がまん延するなか、本市におきましても生活や経済活動などに甚大な影響が出ております。それに加え、病院統合が新たな段階に入ります。市民の皆さまに「信頼される議会」の実現に向けた取り組みを不断に実行し、市民福祉の向上のために取り組む所存でございます。ご支援ご協力をお願い申し上げます。



優しいまちづくりを目指して

副議長 小木曾光佐子

3月定例会において議員各位のご推挙を受け、副議長に就任させていただきました。

東日本大震災から10年が過ぎましたが、復興はまだ道半ばとなっております。本市においても今まで以上に自然災害や感染症に対する備えをしていくことが重要な時と考えています。こんな時代だからこそ、いつの時も優しい気持ちを持ち、お互い様の心を大切に、みんなが安心して暮らせる、そんな優しいまちづくりのための議会運営に努めてまいりたいと思います。

市民の皆さまにおかれましては、これまで以上のご支援を賜りますようお願い申し上げます、挨拶いたします。

議会の構成

議長 加藤輔之		副議長 小木曾光佐子		監査委員 渡邊康弘		◎委員長 ○副委員長	
議会運営委員会（6人） 議会の運営、会議規則、委員会条例、議長の諮問に関する事項を調査し、議案、陳情等の取り扱いを審査				◎熊谷隆男 柴田増三	○館林辰郎 辻正之	大久保京子	樋田翔太
東濃西部広域行政事務組協議会議員				加藤輔之	奥村一仁	館林辰郎	
常任委員会	総務民生文教委員会（8人） 総務部、まちづくり推進部、民生部、教育等所管に関するものを審査、調査			◎山下千尋 熊谷隆男	○奥村一仁 館林辰郎	辻正之 柴田幸一郎	加藤輔之 樋田翔太
	経済建設委員会（8人） 経済部、建設部、消防本部等所管に関するものを審査、調査			◎棚町潤 榛葉利広	○三輪田幸泰 大久保京子	成瀬徳夫 小木曾光佐子	渡邊康弘 柴田増三
	予算決算委員会（16人） 予算決算に関するものを審査、調査			◎榛葉利広	○樋田翔太	他全議員	
特別委員会	リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会（7人）			◎柴田幸一郎 三輪田幸泰	○大久保京子 渡邊康弘	館林辰郎 奥村一仁	成瀬徳夫
	議会改革特別委員会（8人）			◎辻正之 樋田翔太	○柴田増三 小木曾光佐子	熊谷隆男 棚町潤	山下千尋 榛葉利広
議会広報広聴委員会（6人） 議会広報紙及び議会報告会に関する協議や調整				◎小木曾光佐子 大久保京子	山下千尋 柴田幸一郎	棚町潤	榛葉利広

会派の構成（5会派）

◎代表

新政クラブ （7人）	◎熊谷隆男 渡邊康弘	加藤輔之 辻正之	大久保京子 三輪田幸泰	山下千尋	創政みずなみ （6人）	◎柴田増三 柴田幸一郎	小木曾光佐子 棚町潤	樋田翔太 奥村一仁
日本共産党 （1人）	◎館林辰郎	公明党 （1人）	◎榛葉利広	瑞政 （1人）	◎成瀬徳夫			

※令和3年3月24日、「創政みずなみ」からの会派離脱により、新会派「瑞政」が結成

感染症による差別や偏見を許さない

本市ではコロナ禍における差別や偏見等の大きな事案は発生していませんが、「人にやさしいまち」を目指し、今後起こりうるあらゆる事態に、皆が助け合い、支え合う社会を実現するため、以下の内容を決議しました。

新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症に係る差別や偏見等の根絶に関する決議

新型コロナウイルス感染症拡大により、世界中で1億人以上が感染し、250万人以上が命を落としている。日本国内では現在までに約43万人が感染し、8,000人を超える死亡者がでており、本市においてもこれまでに70名の感染者が確認されている。その中において市民は、細心の注意を払いながら感染拡大の防止と社会経済活動の両立に向け、懸命に取り組んでいる。

こうした状況下で、感染者やその家族、学校や勤務先、医療・福祉関係者などに対しSNS等による匿名での心無い誹謗中傷や間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから、感染者や感染経路を詮索する事例などが全国的に発生していることは憂慮すべきことである。また、今後ワクチン接種が行われるなかで、非接種者に対する差別、いじめ、職場や学校等における不利益な取扱いについても懸念されている。

これらの行為は、偏見による不当な扱いであり、私たち瑞浪市民が大切にしてきた「おたがいに助け合い、楽しいまちをつくりましょう」という市民憲章に反するものである。また、非難を恐れて検査忌避や感染の秘匿を生みかねず、さらなる感染拡大を防ぐうえでも悪影響が予想される。これは新型コロナウイルス感染症のみに限らず、多くの感染症に対し言えることである。

感染者やその家族などが、誹謗中傷や差別等による二次被害を受けることのないよう、瑞浪市議会は以下を決議する。

- 1 新型コロナウイルス等の感染者や医療従事者、その家族などに対する誹謗中傷や差別的な扱いを絶対に許さない。
- 2 根拠のない噂話や不当な扱いにつながるような情報の拡散に反対し、これらを助長するような言動には異を唱える。
- 3 感染者の治療にあたる医療従事者をはじめ、生活を支えるために感染リスクと隣り合わせで働いている事業者等に感謝するとともに、これらの方々の声に真摯に耳を傾けていく。

令和3年3月4日

岐阜県瑞浪市議会

瑞浪市議会では、地域と家庭・職場（もしくは学校）を三つの輪でつなぎ、「ただいま」「おかえり」が言える社会を目指している「シトラスリボンプロジェクト」に賛同しています。



3月定例会

会期

2月24日から
3月24日まで

3月定例会に上程された議案は、所管の各委員会に付託され審査しました。審査した内容の一部を抜粋してご紹介します。本会議の最終日（3月24日）には、委員会で審査した案件を本会議で採決しました。
※採決結果は14・15ページに掲載しております。

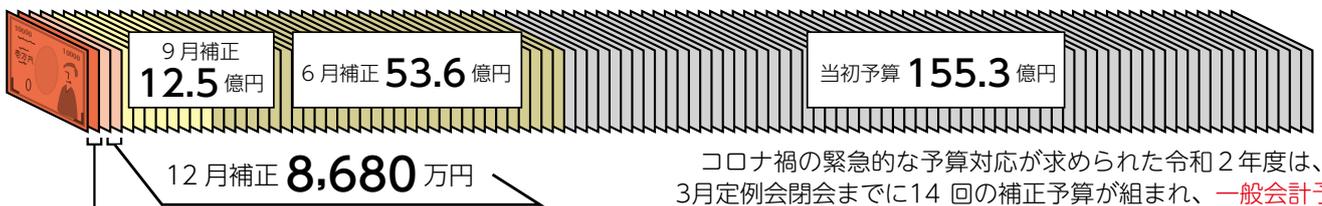
将来のための予算

令和3年度当初予算

<h3>一般会計</h3> <h2>156億 500万円</h2> <p>(前年度比0.5%増)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で市民税などの減額、使用料・保育料などの減少で大きな歳入減となりましたが、国庫補助金や市債などを活用し、市庁舎大規模改修やブーム付き多目的消防ポンプ車の購入などで前年度並みの予算となりました。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○庁舎等改修事業 5億1,300万円 ○病院事業一部事務組合負担事業 1,369万円 ○瑞浪駅周辺再開発事業 4,580万円 ○消防車両・救急車両等購入事業 1億450万円 ○釜戸小学校改修事業 2億4,000万円
<h3>特別会計</h3> <h2>77億 100万円</h2> <p>(前年度比2.0%増)</p>	<p>駐車場事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大きな減額となりました。後期高齢者・国民健康保険・介護保険の各特別会計は微増となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○後期高齢者医療保険事業 5億5,650万円（2.7%増） ○国民健康保険事業 35億8,400万円（2.5%増） ○介護保険事業 35億3,740万円（2.0%増） ○駐車場事業 2,300万円（44.8%減）
<h3>企業会計</h3> <h2>35億 2,000万円</h2> <p>(前年度比4.2%減)</p>	<p>水道事業は、収益的収支は、収入支出ともに減額となりましたが、資本的収支は、緊急時給水拠点確保事業の増加により3,000万円ほど増額となりました。下水道事業は、農業集落排水統合事業が完了し、1億5,000万円ほどの減額となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水道事業会計 <ul style="list-style-type: none"> 収益的支出 11億600万円(前年度比3.3%減) 資本的支出 4億8,090万円(前年度比7.7%増) ○下水道事業会計 <ul style="list-style-type: none"> 収益的支出 11億6,340万円(前年度比0.8%減) 資本的支出 7億6,920万円(前年度比15.6%減)

コロナ禍の超大型補正

令和2年度補正予算



コロナ禍の緊急的な予算対応が求められた令和2年度は、3月定例会閉会までに14回の補正予算が生まれ、**一般会計予算の総額は222億9,620万円**にまで膨らみました。これは前年度に比べ**63億8,100万円**の増加です。

3月補正 7,410 万円

<内訳>

補正により増額
となった事業

事業数 **32** 事業
総額 **7億7,479** 万円

主な
事業

- ・公共施設整備基金積立金 4億1,390万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 2億円
- ・小中学校施設空調整備事業 3,500万円

補正により減額
となった事業

事業数 **140** 事業
総額△**7億69** 万円

コロナ禍により開催できなかった事業や、対象者数が減った事業、その他の要因により、多くの事業において予算額から大きく減額補正が行われました。

今後20年の使用を想定した本庁舎改修

庁舎等改修事業 5億1,300万円

本庁舎は建設後40年以上経過し老朽化が顕著であるため、耐震補強工事は完了しているが、給排水・空調・照明・アスベスト撤去等を中心に改修を行います。また、非常用電源については72時間稼働可能になるよう改修します。

問 庁舎等改修事業に関しては、居ながら工事となると思うが詳細はどのようなか。

答 夜間や休日にも用いた工事に対応し、15か月をかけて施工する。



東濃中部病院事務組合設置

病院事業一部事務組合負担事業 1,369万円

瑞浪市・土岐市で新たに設置する病院の一部事務組合を設置し、建設整備、管理及び運営に関する事務を行います。なお、組合運営に必要な経費を2市で負担することとなります。

問 一部事務組合の業務は組合の運営のみか、規約の見直しや建設整備、管理運営に関するものを行うのか。

答 令和3年度は、人件費等が計上されているのみで、今後は、基本設計などが提案される予定である。

保育士の負担軽減と保護者の安心を

幼稚園ICTシステム導入事業 290万円

保育の需要が増大したことによる保育業務や事務業務負担軽減と、保育士・保護者双方の利便性の向上を目指し、ICTシステムを導入します。

問 ICTシステムを試験的に導入するのはどこの幼稚園か。また事業費の内訳はどのようなか。

答 まだ決定していないが、中規模の幼稚園を予定している。主な内訳は、システム使用料に年間120万円、ネットワーク構築に26万円、タブレット8台の購入に73万円などで総額290万円である。



快適で衛生的な教育環境実現

小学校施設空調整備事業 2,700万円、中学校施設空調整備事業 800万円

まだ空調が整備されていない利用頻度の高い特別教室に、早期に設置するため、前倒しで設計業務を行います。

問 空調設備整備事業で整備される特別教室とは具体的にはどんな教室か。

答 理科室や音楽室など、特によく使う特別教室の設計業務を行う。

コロナ禍でも学校との連絡をスムーズに

情報配信システム構築事業 820万円

学校と家庭間の連絡ツールとして、スマートフォンを活用した情報発信システムを導入し、双方向で素早く正確なやり取りを可能にします。

問 情報配信システム構築事業の詳細はどのようなか。

答 学校と保護者間で双方向のやり取りができるようになる。アプリは1学期後半には使用可能となる。

総務民生文教委員会

東濃厚生病院と土岐市立総合病院の統合

東濃中部病院事務組合^{*}の設置について

新たに設置する病院の建設整備、管理運営に関する事務を土岐市と共同で処理するため、規約を定め、東濃中部病院事務組合を設置することが提案されました。規約には、組合が行う事務の内容や、組合の議会を両市議会から5名ずつ選ばれた10名の議員で組織すること、組合の経費に係る両市の負担金割合を人口割とすることなどが定められています。

委員会の視点

問 負担割合を人口割とした理由と経緯は。

答 医療圏として医療提供体制を考える必要がある中で、立地による負担割合を求めるのは適当でないとの判断から、また、既存の『土岐市及び瑞浪市休日急病診療所組合』においても人口割で負担割合を算出していることを勘案し、人口割とした。

問 規約にある負担割合はどのような経費に対して適用されるか。

答 建物の建設費用や運営費用を含め、事務組合で発生する費用について適用される。

問 収入について、補助金とその他の収入はどのようなものが想定されるのか。

答 補助金については国の『地域医療介護総合確保基金』を、その他の収入についてはJA厚生連からの負担金を想定している。

市民の疑問に答えていくためにも、両市議会から議員を選出し、検討を行う組合の設置が必要である。

委員会
討論

賛成

反対

市民への説明が十分でなく、納得できていない市民が多い。あまりにも急いで物事を進めようとしている。

医療提供体制がひっ迫する中、病院再編は一刻の猶予も許されない。

本会議
討論

賛成

反対

統合によるデメリットの把握を行わない中で、負担割合を決めるべきでない。

超高齢化社会に直面する今、最新機器が備わる新病院を早急に建設すべき。

市民の理解以上に重要なことはない。また、再編はより広域での議論が必要。

介護保険料判定の一部が改正

瑞浪市介護保険条例の一部改正

第8期瑞浪市介護保険事業計画の策定並びに関係法令の一部改正に伴い、右図のように保険料の所得段階を改正することが提案されました。

用語解説

※事務組合
複数の地方公共団体が共同で行政サービスを行う際に設置される組合組織で、正式には一部事務組合と
いいます。

所得段階	新	旧	年間保険料(円)
第7段階	前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満	…、120万円以上200万円未満	79,400
第8段階	…、210万円以上320万円未満	…、200万円以上300万円未満	91,620
第9段階	…、320万円以上400万円未満	…、300万円以上400万円未満	103,840

経済建設委員会

ごみ処理手数料等の改定

瑞浪市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正

瑞浪市廃棄物減量等推進審議会の答申を受け、廃棄物処理手数料改定の提案がありました。

前回の手数料改定から13年経過し、人口減少に伴いごみの排出量は減少傾向にあります。しかし、固定費の増加で処理経費が微増傾向にあるため処理手数料を値上げするものです。

一方で①可燃ごみに中袋を新設②不燃ごみは可燃ごみと同様の料金体系③持ち込みごみは計量単位を10kgに引き下げるなど、市民の負担感軽減に配慮されています。十分な周知期間を設け、社会情勢を鑑みて改定されます。



問 周知期間はどの程度見込んでいるのか。

答 周知期間は3か月から6ヶ月程度を予定しており、現行のゴミ袋との併用期間を3か月程度設ける。

問 浄化槽汚泥の無料化を行うのはなぜか。

答 し尿の排出者負担と比較して極めて不均衡な状況となっているため、これを是正するために廃止する。

お年寄りの生活を守る意見書

議会では高齢者の方々の不安の払しょくのみならず、支え手となる若者の減少を思いながらも、本市の現状を考慮し、医療弱者である高齢者に負担が及ばないように、この意見書の提出を決定しました。

後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書

本年2月5日、政府は年収200万円以上の75歳以上の後期高齢者が医療機関で支払う医療費の窓口負担を1割から2割に引き上げることを盛り込んだ医療制度改革関連法案を閣議決定しました。現役世代の健康保険料の上昇を抑えるため、給付と負担を見直すことを目的に、2022年度後半の導入をめざし今通常国会に提案されています。

団塊世代が後期高齢者に入り始める2022年以降、医療給付費の急増と、支え手となる現役世代の急減が見込まれる社会情勢のなか、高齢者にも応分の負担を求めることで、給付と負担の世代間のアンバランスを是正し、公平性を高めていくことの意義は理解できるものの、窓口負担の引き上げは、後期高齢者の生活および医療の受診に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。瑞浪市内においては、高齢化率は全国平均よりも高く、影響を受ける方も多くなか、こうした実情を考慮し、後期高齢者が必要な医療を受けられる機会の確保という観点から、窓口負担のあり方については現状維持に努めることを求めます。

つきましては、以下を要望します。

記

後期高齢者の医療費窓口負担については極力現状維持に努めること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和3年3月24日

岐阜県瑞浪市議会

市政一般質問



一般質問映像
検索はこちらから

市政一般質問では、議員が市長等に対し、行政全般にわたり市の施策や方針など諸問題について質問し、答弁を求めます。3月定例会では12人の議員が24の標題にわたって質問をしました。質問した議員ごとに主な質問を掲載しています。

樋田 翔太(創政みずなみ)

- ・新型コロナウイルスワクチン接種について

柴田 幸一郎(創政みずなみ)

- ・今後のための地盤対策について
- ・持続可能な観光について

成瀬 徳夫(創政みずなみ)

- ・水道管の老朽化対策について
- ・中学校のスクールバスについて
- ・瑞浪超深地層研究所の跡地について

奥村 一仁(創政みずなみ)

- ・瑞浪市災害廃棄物処理計画について

熊谷 隆男(新政クラブ)

- ・瑞浪超深地層研究所について
- ・中学校学区について

榛葉 利広(公明党)

- ・多胎妊産婦及び多胎児の支援について

山下 千尋(新政クラブ)

- ・新年度の市政運営方針について
- ・総合文化センターの再編について

館林 辰郎(日本共産党)

- ・「令和元年度一般会計等における統一的な基準による財務書類」の評価について
- ・市営住宅入居者の家財道具等の処理を事前に手続きする条例について
- ・2病院を統合し、指定管理者制度で JA 岐阜厚生連による運営を目指すことについて

大久保京子(新政クラブ)

- ・高齢者等の福祉サービスについて
- ・地域包括支援センターの取り組みについて

棚町 潤(創政みずなみ)

- ・中小企業への支援について
- ・「瑞浪市政に関する要望書」について

辻 正之(新政クラブ)

- ・登下校中の児童生徒の安全確保について
- ・学校生活における児童生徒の安全確保について

柴田 増三(創政みずなみ)

- ・With コロナから After コロナ、新常識への対応について
- ・瑞浪駅周辺再開発について
- ・新たに開始する事業について



樋田翔太(創政みずなみ)

安全に接種できる体制を

問 現在医療従事者へ接種が行われている新型コロナウイルスワクチンであるが、4月からは高齢者へ、その後基礎疾患のある方、一般の方への接種が行われる。接種後に一部の方には副反応が発生する場合もあり、かかりつけ医で接種する個別接種では対応しやすいと思われるが、集団接種での副反応の対応はどのようなか。

答 個別接種では現時点で、市内14か所の医療機関で接種ができ、集団接種では市民体育館を中心に陶と釜戸のコミュニティセンター、瑞浪南中学校、日吉小学校



ワクチン接種のシミュレーション

【民生部次長】

接種率向上への施策は

問 感染拡大防止のためにはある程度の接種率が必要であると考える。本市として接種率の目標を設定するのか。また、ワクチンが安定供給されることを前提に接種の意義や、副反応の情報などを正しく伝えることで市民に安心してワクチンを接種してもらえ環境づくりが必要ではないか。

答 本市の接種計画上の想定値として16歳以上の人口の接種率を80%と設定し、クーポン券の配布に合わせ、メールや防災無線、ホームページ、広報みずなみへの折り込みなどでの情報発信をしていく。対象者へ予約方法や注意事項などを分かりやすく案内することで接種率向上に努めていく。

【民生部次長】



柴田幸一郎(創政みずなみ)

新病院候補地における地質調査

問 新病院候補地は、軟弱な粘土地盤が深部まで存在すると考えられるため、早期に地質調査を行ったらどうか。

答 新病院候補地の地質は、東隣の肥田中学校建設時のボーリングデータ等の文献より把握している。このデータから推測すると、病院を支えることができる地盤が現地盤から20m程度の深さに存在すると予測し

ている。
詳細な地質調査は、一部事務組合が基本構想または基本設計策定時に行つていく。



上空から見た新病院候補地

【理事】

市民以外も市指定文化財に携わることができるか

問 市指定文化財を保存させ、上手に展示することで本物志向の観光客（他市の方）を呼び込むことができる。本物志向の観光客はリピーターが多い。この方々も文化財維持に携わることができる体制が必要ではないか。

答 観光の目的には、普段の暮らしでは得られない体験をすることがある。地域固有の文化と伝統を保存し、見て体験して頂くことが、観光振興に繋がると思われる。市指定文化財の保存や

伝承等を目的とした事業に対して補助制度を設け、文化財保護と観光資源の維持に努めている。

本市には、地域の歴史や文化財等の魅力を伝える「みずなみかたりべの会」や、地歌舞伎衣装の着付け体験や役者養成教室を開催している「相生座」がある。県外からも多くの方が参加され、今後も「瑞浪の歴史・文化」に興味を持ち参加いただけるよう図っていく。

【教育長】



成瀬徳夫(創政みずなみ)

水道管の老朽化対策

問 水道管老朽化対策は、喫緊の課題であり早急に対策を講じる必要があるが、具体的な計画はどのようか。

答 市内の水道施設を対象としたアセットマネジメントでは、法定耐用年数による更新ではなく、全国的な動向や近隣事業者の情報を参考に、40年から最大80年の本市独自の更新基準を設定した。

今後50年先までの更新基準を算定した上で、前期15年、中期15年、後期20年に分け、収支財政計画とも整合性をとった更新投資計画を取りまとめた。

この計画を盛り込んだ「瑞浪市水道事業ビジョン」

を令和2年度内に作成し、次年度からこのビジョンに基づいた老朽化対策を進める。



老朽化により漏水した水道管

【建設部長】

超深地層研究所跡地の管理は

問 瑞浪超深地層研究所の跡地が、市の管理地となるはずであるが、どのように管理し活用していくのか。

答 返還される約7.7haのうち山林が約6.6ha、宅地部分が約1.1haで、すべて普通財産である。

一部に「花木の森散策路」があり、訪れた方々が季節

を通じて散策などを楽しんでおられ、返還後は農林課所管の普通財産として管理をしていく。その他は、総務課所管の普通財産として管理していく。宅地部分の活用方法については、令和9年度末までに検討していく。

【総務部長・市長】

仮置場の設置に民間の協力を



奥村一仁(創政みずなみ)

問 大規模な地震災害が発生した場合に、災害廃棄物の一次仮置場、二次仮置場ともに必要面積の不足が懸念されるため、民間企業等と災害時における災害廃棄物の仮置場の設置に関する協定を締結してはどうか。

答 令和2年7月に市内の自治会長に対して実施した、災害廃棄物に対する一次仮置場の設置可能性アンケートでは、民間企業等が所有する1,000㎡以上の空き地は、16箇所で約3.3haであった。

これらの土地について一次仮置場としての利便性の確認を行うとともに、利用



震災時の仮置場（環境省HPより）

災害廃棄物処理時に

思い出の品等の保管を

問 災害廃棄物を撤去する際に、写真、位牌等の思い出の品や貴重品を取扱う場合がある。災害時の悲しみを少しでも和らげるために、その取扱い対応について瑞浪市災害廃棄物処理計画に記載してはどうか。

答 本市が当該計画を策定した以降に県から示された

計画例には、特別な対応が必要となる廃棄物として、思い出の品等の記載がある。次回改定に際して、県から示された計画例を参考に策定することとしているので、その段階で対応したいと考えている。

【経済部次長】

超深地層研究所の今後

問 令和4年1月に予定されている日本原子力研究開発機構との埋め戻し後の新たな賃貸借契約の概要はどのようなか。

答 現在の土地賃貸契約では、山林約6.6haと現況の宅地部分約1.1haの合計約7.7haを賃貸している。新たな賃貸借契約では、埋め戻し後の周辺環境に与える影響のないことを確認するための

環境モニタリングに必要な範囲と、撤去することとした建物や設備などの基礎が残る範囲を新たに賃貸する予定である。期間は、現在の賃貸借契約の終了後から令和9年度末までとなる見込みである。

新たな賃貸借契約終了後の土地活用は、今後の環境モニタリング期間中に検討する。

【総務部長】

中学校学区の見直し検討へ

問 少子化が進む本市において、中学校の教育環境を保持・向上するために早期に学区の見直しをすべきではないか。

答 令和11年度以降、瑞浪南中学校に入学予定の生徒数が35人を割り、単学級になるという見込みと中学校統合の経緯を踏まえると、今後の中学校の在り方について検討する必要が出てきたと考えている。

本市と同様に少子化の課題を抱えている県内の市町村の学区の見直し、学校の統合等の成果や課題、瑞浪市内の各地区・各学校の現

状と今後の見直しを踏まえ、地域住民や保護者、さらには児童生徒の意見も丁寧に聞き取りながら進めていかなければならない。

【市長】



瑞浪南中学校



榛葉利広(公明党)

多胎児家庭の子育てを応援

問 国の補助事業で、来年度は市町村の規模に応じて実施できる「多胎妊産婦サポーター等事業」を活用しはどうか。

答 本市では、出産後、保健師による「赤ちゃん訪問」を実施し、妊産婦との関係づくりを構築している。

また、子育て支援センター「愛モア」で、年4回の「さくらんぼサロン」として多胎ならではの育児について、情報交換や悩みを話す場所を開催している。

しかし、多胎の妊産婦やその家庭にとっては、産前・産後の負担は相当大きいも

のと考えるため、今後の多胎児の推移を見ながら支援の必要性を検討し、事業の活用について考えていく。

【民生部長】



ピアサポーターによる病院訪問

多胎妊産婦への経済支援を

問 多胎妊産婦に必要な健康診査に係る費用を追加で助成してはどうか。また、妊婦検診を控える傾向がないかを調べる必要はないか。

答 多胎妊娠の場合は、検診の頻度は高くなるが、妊娠中期から医療的入院管理となるため、現在助成している14枚の受診券で必要な健康診査を受けている状況

にあると考えられることから、現段階での追加助成は考えていない。しかし、多胎妊産婦に限らず、妊産婦支援については積極的に調査研究し、国・県の動向にも注視しつつ、さらに支援の充実に努める。

妊婦検診の受診控えなどに関しては、今後調査を検討する。

【民生部次長】



山下千尋(新政クラブ)

ポストコロナの1年目

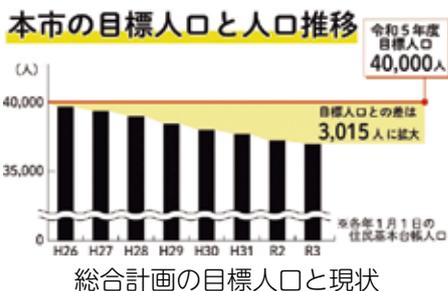
人口減少対策の方針は

問 目標人口と現状との差は拡がる一方であり、本市のこれまでの人口減少対策は成果を上げられていると難しい。社会の大きな転換期にある今こそ、人口減少対策の方針の見直しが必要ではないか。市長の考える今後の人口減少対策の方針はどのようか。

答 人口減少問題は、画期的な解決策があるわけではなく、地道な取り組みを着実に進めていくほかないと考える。今後についても、これまでの取組みと大きく変えることはせず、移住定住施策の推進、子育て支援、教育環境の充実、健康で住

み続けられるまちづくり、産業の振興、働く場の確保、魅力ある街づくり、都市基盤の整備など、総合力をもって人口減少を克服していく方針である。

【市長】



どうなる、文化センター

問 総合文化センターの改修及び再編はどのように進められるのか。

答 現在、総合文化センターのホール、ホワイエ、ロビーの天井部分が、建築基準法施行令に対して既存不適格の状態であり、令和4年度中にこの部分について必要最小限の改修工事を行

うることとしている。

総合文化センターは公共施設再編成プランに示すとおり、令和9〜18年を目標に瑞浪駅周辺再開発事業に伴う公共施設との複合化を考えており、今回の改修によって再編スケジュールに変更はない。

【教育委員会事務局長】



館林辰郎(日本共産党)

財政と市民サービスは デジタル化でコスト削減

問 令和元年度の決算に係る純資産変動計算書の本年度差額は、行政コストを税収や補助金等で賄うことができず、約10億円不足になっている。

答 今後、市の財政は収入が減り厳しくなるが、財源確保をどのように考えているか。本年度差額のマイナス

は、減価償却費や資産売却によるものである。差を縮める対策としては、AーやRPAなどのデジタル技術導入などによる行政コストの削減と、企業誘致や新たな創業の支援、ふるさと納税の取組み強化などにより、財源の確保に努める。

【総務部長】

市内に公的病院なくなる 市が設置者となる公立病院

問 病院統合により、市内に公的病院が無くなることで、市民は、市の将来と生活に不安を抱いている。病院経営経験のない本市は、どのように関わっていくか。

答 新病院は、地域の医療資源の集約と医師などの人材確保に繋がり、将来に向けた質の高い医療提供体制の確保が期待できる。本市も設置者となる公立病院で、市の意向も病院事業に反映でき大きなメリットがある。また、現東濃厚生病院の後利用は、JA岐阜厚生連

においてクリニック機能をはじめとし、医療・福祉分野で活用が検討されており、引き続き地域住民のニーズにも応えていただけるものと考えている。

【市長】



新病院の建設予定地



大久保京子(新政クラブ)

経済的負担軽減で安全確保

問 要介護認定者等が利用する住宅改修費の介護保険給付の現状は、利用者が改修費全額を事業者へ支払い、その後申請により、利用者負担額を除いた給付額が2〜3ヶ月後に口座振込となる。一方で、利用者負担額のみ事業者へ支払う受領委任払い制度は、利用者の一時的な支払い負担や家族の介護負担の軽減にも繋がることからこの制度を導入すべきではないか。

答 償還払いは、利用者に一時的に支払いが発生する。利用者の経済的負担の軽減やサービス利用の控えを防ぐ効果が期待される受領

委任払い制度を導入している自治体も増えており、本市も受領委任払い制度の導入に向け、住宅改修費と同様に、福祉用具購入費についても令和3年度の早期の実施に向けて取り組んでいく。

【民生部次長】



介護保険サービスで
手すり取り付け

地域住民の身近な相談窓口

問 地域包括ケアシステムの深化・推進のために、2か所の地域包括支援センターの機能強化をどのように図っていくのか。

答 ①潜在的な要支援者について、地域のネットワークを通じて把握ができて体制の整備②各センター業務の実施状況を把握し、業務の重点化・効率化を推

進③2か所のセンター間で、サービスの格差が生じないよう情報共有し、必要に応じた業務改善④相談・苦情対応体制の強化等へ専門的継続的な支援について、市が一体となって幅広い関係機関・関係者と連携を強め取り組んでいく。

【民生部次長】



棚町 潤(創政みずなみ)

中小企業への支援は

問 本市の経済を支える中小企業が抱える悩みは大きく3つあると考える。売上総利益の確保、人材確保、後継者問題と考えるが本市の支援はどのようか。

答 本市では「ものづくり補助金」、「小規模事業者持続化補助金」、「IT導入補助金」などの国の生産性革命推進事業へ上乘せ補助を行い中小企業の設備投資を支援している。

人材確保については令和3年度に高校生、大学生、一般求職者を対象としたWEB合同企業説明会を実施する予定で、市内企業43社の参加が見込まれている。課題が複雑な後継者問題

を解決するため、令和2年度より事業承継ネットワークを構築して各種相談に対応している。引き続き経営相談しやすい体制づくりを支援し、周知に努めていく。

【経済部長】



中小企業の作業風景

中小企業を支援する

条例制定を求む

問 中小企業・小規模企業の振興に関する条例を制定してはどうか。

答 2月に瑞浪商工会議所より条例制定に対する要望を受けた。

近年の小規模事業者を取り巻く環境下では様々な構

造変化に直面しており、そのうえ新型コロナウイルス感染症の影響が加わり、より一層厳しい状況にある。この要望を考慮しながら、本市の諸条件に応じた条例制定に向け取り組んでいく。

【市長】

登下校時の安全のために

問 登下校中の災害時の対応や、緊急時の対応に限り、携帯電話の所持を認めてはどうか。

答 学校における携帯電話の所持については、平成20年度、平成21年度、令和2年8月に文部科学省から「学校における携帯電話の取り扱いについて」等で通知されている。携帯電話は、学校における教育活動に直接必要のないものであることから、市立の公立小・中学校においては、「原則持ち込み禁止とし、個別の状



瑞浪小学校周辺通学路

【教育委員会事務局次長】

非常時の児童生徒のケアは

問 事故や災害時の困った事、心配な事、不安に感じた事など、児童生徒の心のケアはどのようか。

答 事故や災害発生時に不安や悩みを抱え、心が不安になった場合には、まず、担任や養護教諭、教育相談主任等、児童生徒の身近な教職員が話を聞く。児童生徒の話を通じて、教育相談委員会等の組織で対応を検討し、スクールカウンセラーや医療等の関係機関へ

繋ぐ体制は整っている。

緊急時には、岐阜県教育委員会が行っている「スペースリストサポート事業」により、臨時的にスクールカウンセラーやスーパーバイザー、スクールソーシャルワーカーの派遣が可能である。

過去に市内で発生した事案で、2小学校、1中学校に3名のスクールカウンセラーを派遣している。

【教育委員会事務局次長】

辻 正之(新政クラブ)





柴田増三(創政みずなみ)

瑞浪駅周辺再開発ニーズは

問 さまざまな社会実験での成果と課題はどのようか。

答 令和元年度は、パブリックビューイングや駅前広場の芝生化による憩いのスペースの創出、キッチンカーの出店による賑わい創出等の社会実験により、それぞれ一定のニーズがあることを確認した。令和2年度は国土交通省の「先導的官民連携支援事業」により、

駅南空き店舗を多世代交流空間「Mビル」として整備した。学生の自学や子育て世帯の憩いスペースとしての需要が確認できたが、コワーキングスペースとしては利用環境を検討する必要があることを確認した。

今後、利用者の需要把握や新たなニーズの発掘、新しい民間活動の検証を行っていく。【理事】

保育士業務の効率化と

事務負担の軽減

問 保育士業務支援システムの内容と課題はどのようか。

答 ICカードを活用した、園児の登・降園管理や、保育業務日誌・指導計画・保育士のシフト表などの作成、保護者との双方向の各種案内・連絡が可能になる。

事務の効率化・負担軽減はもとより、保護者の利便性の向上や職員の時間外勤務の削減、事務経費の削減も期待できる。

さまざまなシステムが開発されており、本市の実情

に合ったシステムを選定することが課題である。

中規模以上の幼稚園をモデルとして試験導入し、結果を基に検証し、早期に全園に導入する予定である。

【民生部長】



システムの導入が進む幼稚園

3月定例会議決結果一覧（全会一致の案件）

案件	議案番号	議案名	付託先	採決結果
承認	承第1号	専決処分の承認について（令和2年度専第11号 令和2年度瑞浪市一般会計補正予算（第12号））	—	承認
条例	議第2号	瑞浪市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務民生文教	可決
	議第3号	瑞浪市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	総務民生文教	可決
	議第4号	瑞浪市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	総務民生文教	可決
	議第5号	瑞浪市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務民生文教	可決
	議第6号	瑞浪市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	可決
	議第7号	瑞浪市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	可決
	議第8号	瑞浪市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	可決
	議第9号	瑞浪市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	可決
	議第37号	瑞浪市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総務民生文教	可決
	議第38号	瑞浪市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総務民生文教	可決
	議第39号	瑞浪市介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務民生文教	可決
	議第40号	瑞浪市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総務民生文教	可決

議決結果一覧

案件	議案番号	議案名	付託先	採決結果
人事	議第1号	瑞浪市監査委員の選任につき同意を求めることについて	—	同意
	議第10号	瑞浪市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	同意
	議第11号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	可決
	議第12号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	可決
	議第13号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	可決
その他	議第14号	東濃西部広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及びこれに伴う規約の変更について	総務民生文教	可決
	議第16号	字の区域変更について	経済建設	可決
	議第17号	財産の処分について【瑞浪クリエイション・パーク内の土地売却】	経済建設	可決
	議第18号	市道路線の廃止について	経済建設	可決
	議第19号	市道路線の廃止について	経済建設	可決
	議第20号	市道路線の認定について	経済建設	可決
	議第21号	市道路線の認定について	経済建設	可決
議第22号	工事請負契約の締結について【釜戸小学校の校舎改修工事】	総務民生文教	可決	
予算	議第23号	令和2年度瑞浪市一般会計補正予算（第13号）	予算決算	可決
	議第24号	令和2年度瑞浪市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
	議第25号	令和2年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	予算決算	可決
	議第26号	令和2年度瑞浪市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
	議第27号	令和2年度瑞浪市駐車場事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
	議第28号	令和2年度瑞浪市水道事業会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
	議第29号	令和2年度瑞浪市下水道事業会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
	議第31号	令和3年度瑞浪市後期高齢者医療事業特別会計予算	予算決算	可決
	議第32号	令和3年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計予算	予算決算	可決
	議第33号	令和3年度瑞浪市介護保険事業特別会計予算	予算決算	可決
	議第34号	令和3年度瑞浪市駐車場事業特別会計予算	予算決算	可決
	議第35号	令和3年度瑞浪市水道事業会計予算	予算決算	可決
	議第36号	令和3年度瑞浪市下水道事業会計予算	予算決算	可決
議第41号	令和2年度瑞浪市一般会計補正予算（第14号）	予算決算	可決	

※議第17号、議第22号は、内容を分かり易くするため、議案名の後に【 】で補足しています。

案件	議案番号	発議	付託先	採決結果
決議	発議第1号	新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症に係る差別や偏見等の根絶に関する決議について	—	可決
請願	請願第1号	後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の請願書について	総務民生文教	採択
意見書	発議第2号	後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書について	—	可決

3月定例会議決結果一覧（賛否が分かれた案件）

案件	議案番号	議案名	付託先	採決結果	柴田増三	舘林辰郎	加藤輔之	熊谷隆男	榛葉利広	成瀬徳夫	小木曾光佐子	大久保京子	渡邊康弘	樋田翔太	辻正之	三輪田幸泰	柴田幸一郎	棚町潤	山下千尋	奥村一仁	
その他	議第15号	東濃中部病院事務組合の設置について	総務民生文教	可決	○	●	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
予算	議第30号	令和3年度瑞浪市一般会計予算	予算決算	可決	○	●	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長(加藤輔之議員)は採決に加わらない。

※採決結果は、○=賛成 ●=反対

市政のなぜ？をお聞かせください！

瑞浪市議会では広報はもちろん
 広聴に力を入れたいと考えています。
 みなさまの思うなぜ？に市議会がお答えします。

こんなお声をいただいています

陶町では学童がないため児童館に行っていますが、
 コロナ禍で閉館が17時までになっています。
 せめて17:30までにならないかな？



各児童館の閉館時間は、4月から9月までは18時、10月から3月までは17時、
 陶児童館は通年18時です。現在はコロナ禍のため、お子さんの安心安全を守るため、
 館内消毒の時間をいただいているので、時間を3部制にしての利用となっています。
 17時以降の利用については、児童館にご相談ください。

わたしたち
 安心して子育ても
 仕事もしたいの



子育て中のお父さん・お母さん
 おじいちゃん・おばあちゃんも
 お声をお聞かせください

メール gikaigikai@city.mizunami.lg.jp
 F A X 0572-68-2043
 締め切り 5月31日(月)

編集後記

2月の役員改選において、広報広聴委員会も新たなメンバーとなりました。

今年の方針は、市民の皆様のお声を十分に聴き、皆様に手に取っていただける、そしてペーJをめぐりたくなるような広報紙を目指したいと考えています。

東日本大震災から10年が過ぎましたが、阪神淡路大震災の復興と比べても、津波や原子力発電所の事故による復興の遅れは否めず、改めて被害の大きさを感じています。また、毎年各地で起きる災害は後を絶たず、新型コロナウイルス感染症も変異株が現れ、新たな脅威となっています。

こんな時代だからこそ、議会の情報を速やかに分かりやすく伝えるとともに、市民の皆様と心寄せ合い、情報の共有に努めてまいります。ぜひ皆様からの率直なご意見をいただけますようお願いいたします。

◆会期

6月1日(火)～6月28日(月)

◆市政一般質問

6月23日(水)9時～

6月24日(木)9時～

6月定例会の予定

議会広報広聴委員長

委員 小木曾 光佐子